

いつでも、どこでも、歴史資料に親しめます！

県立文書館「**新規公開文書展2021**」を Webで開催します！

令和2（2020）年度に閲覧公開された約1万点の古文書の中から、特徴的な歴史資料19点を紹介します（NHK大河ドラマ「青天を衝け」の時代とも重なる江戸時代後期～昭和時代の群馬県の文書）。

新型コロナウイルス感染症対策として、文書館のホームページにて開催します（文書館は会場ではありませんので、ご注意ください）。**自宅等で過ごされている方、これまで古文書を見たことがない方、県外・遠隔地の方にも、この機会にぜひ、群馬県に伝わった貴重な歴史資料を知っていただきたい**と思います。

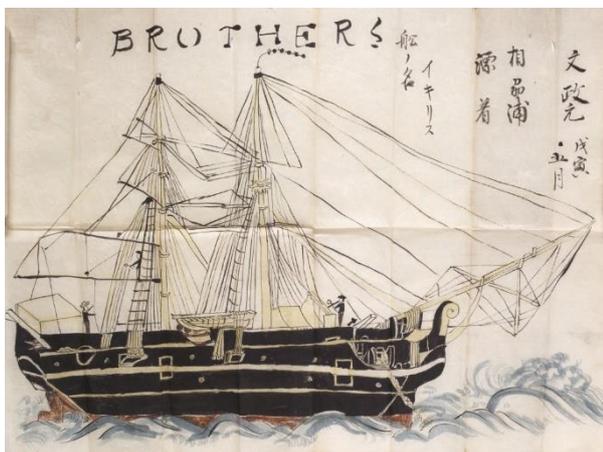
1 **開始日** 令和3年3月16日（火）より文書館のホームページにてスタート  
トップページ(<https://www.archives.pref.gunma.jp/>)から簡単に入れます。

## 2 特色

- (イ) 古文書の文字が読めなくても楽しめるような絵図など19点を精選！
- (ロ) 多くの方に親しんでいただけるよう、鮮明な画像を中心としたメインページ！
- (ハ) もう少し詳しく知りたい、という方向けの解説ページも用意しました！

## 3 展示内容

- ①沼田藩主・土岐家の家臣であった加藤家の文書
- ②群馬県女子師範学校（群馬大学教育学部の前身）の初代校長を務めた山高幾之丞に関する文書
- ③県内在住の赤石氏が収集された文書
- ④前橋市内の若宮八幡宮に伝わった文書



「(相州浦漂着イギリス船ノ名 BROTHERS)」  
(請求番号 P1706 No. 491-6)



「上州一国之図」\*部分  
(請求番号 P1806 No. 54)

当館の閲覧室では、どなたでも**原本**を手にとってご覧いただけます（閲覧・撮影無料）。

※現在は感染症対策のため事前予約ですが、社会状況により利用方法や開館日等が変わりますので、閲覧を希望される場合は、事前に当館のHPでご確認ください。

※一部は保存のため、複製物の閲覧となります（webの目録で事前に確認可能です）。